

柏原市立歴史資料館 令和7年度 夏季企画展

柏原の古刹

光徳寺の歴史と至宝

かりんどおぼた

雁多尾畑、そして大坂

令和7年 6月28日(土) ~ 8月24日(日)

河内有数の真宗の古刹 照曜山光徳寺の
開基 信乗 七百五十回遠忌にあたり、
中世の名号、聖教類から近世史料に
至るまで、その至宝を一堂に公開

関連講演会 (13:30 ~ 15:00)

- 7月13日(日)
大澤 研一氏 (大阪歴史博物館 館長)
「光徳寺と中世大阪の真宗」
 - 7月27日(日)
天野 忠幸氏 (天理大学人文学部 教授)
「戦国時代の雁多尾畑・光徳寺」
 - 8月2日(土)
上場 顕雄氏 (元 真宗大谷派教学研究 所)
「光徳寺の歴史と大阪の支坊」
- 会場：当館 研修室 当日先着順 参加費：200円

ミニ講演会・ギャラリートーク (13:30 ~ 15:00)

- 7月19日(土) 「光徳寺をめぐる史跡と文化財」
- 8月11日(月・祝) 「光徳寺文書調査 中間報告」
- 8月21日(木) 「天空の町 雁多尾畑の魅力」

解説：当館 学芸員 越智 勇介 当日先着順



蓮如上人 筆
六字名号

かりんどおぼた

雁多尾畑

しきさん

信貴山

← おおさか

筆の瀬

やまと →

開基 信乗



生駒山系の山やまが連なる本市東部、奈良県と接する標高二〇〇〜二五〇mの場所に雁多尾畑という古い集落があり、ここに、河内有数の真宗の古刹 照曜山光徳寺が現在まで法灯を伝えていきます。聖徳太子以来の仏教文化が息づく大和川沿いの龍田古道に近く、また、山林抖擻の密教僧や修験者が行き交った当地に、平安時代中期、円融法皇の勅願寺として元祖 法円が開創し、その後、信貴山の毘沙門天の霊夢を得て当寺を再興した信乘(後巴)が親鸞聖人の弟子となるに至って、真宗寺院として成立したと縁起にみえます。

中世以来、光徳寺は教学の拠点として聖教類(經典や高僧の言葉をまとめたもの)が書写・集積され、八代 乗順のとき、本願寺の蓮如上人が大坂に御坊を構えると、当地に支坊(難波宮跡の南方付近)を得て、やがて本願寺教団を支える重要な存在となりました(大坂六人坊主)。九代 乗賢も、親鸞聖人三百回忌で重要な役割を果たすなど頭角を現わし、このころの法宝物がお寺に現存しています。

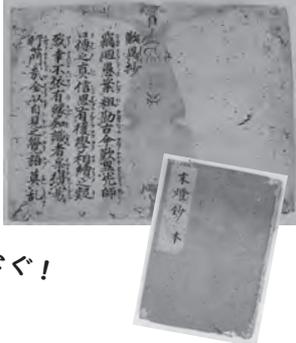
本願寺の自治で運営される大坂寺内は、門徒らの旺盛な経済活動によって繁栄しました。「石山合戦」での奮戦空しく、織田信長に明け渡すことになりましたが、門徒は大坂残留を許され、天下人 豊臣秀吉の大坂城下町で活躍を続けます。光徳寺も、雁多尾畑のほか、大坂の坊舎が船場 南御堂(現 真宗大谷派 難波別院) 近傍の南久太郎町に移転して存続し、近世以降に続く寺格を確立させました。

本企画展では、開基 信乘 七百五十回遠忌の節目の年にあたって、光徳寺に伝わる中世以降の貴重な文化財を展覧し、その豊かな寺史はもとより、本市、そして都市大阪の礎を築いた人びとにせまりたいと思います。



方便法身尊形 (阿彌陀如来画像)

親鸞聖人 御影 (裏書)



聖教類 (歎異抄・未灯鈔)

本願寺代々次第 (歴代 御影)

主な展示資料

- 親鸞聖人・信乘上人連座影象
- 松谷伝承記、松谷絵伝 (光徳寺の縁起類)
- 延宝三(一六七五)年、松谷絵図
- 聖教類(中世) 法然上人御詞、教行信証、歎異抄、未灯鈔、存覚法語、因果鈔ほか
- 蓮如上人筆、六字名号(楷书・草書)
- 永正一二(一五二五)年、実如上人筆、御俗姓
- 大永二(一五三三)年、親鸞聖人御影
- 天文八(一五三九)年、方便法身尊形(阿彌陀如来画像)
- 天文三(一五五五)年、本願寺代々次第(歴代御影)
- 文禄年間、豊臣秀吉朱印状 三一通
- 慶長一二(一六〇七)年、頭如上人御影
- 寛文一三(一六七三)年、教如上人御影
- 寛文六(一六六〇)年、大坂・天満 真宗末寺 由緒書
- 享保一二(一七二七)年、大坂光徳寺 鐘銘
- 子安地藏堂の安産祈願関係資料 □

※上記、□印のないものは照曜山光徳寺 所蔵、□印を付した資料は、光徳寺 子安地藏堂 所蔵

同時開催！ 特集展示「雁多尾畑の古墳」

主な展示資料
・平尾山古墳群雁多尾畑支群 出土遺物(かんざし・金環・須恵器・銅製棺釘)

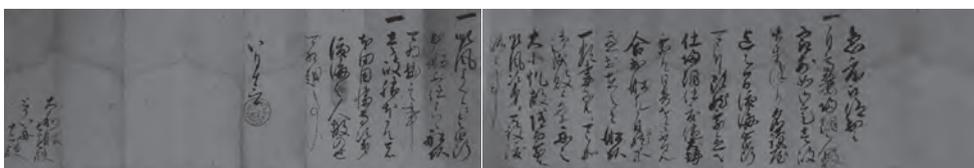
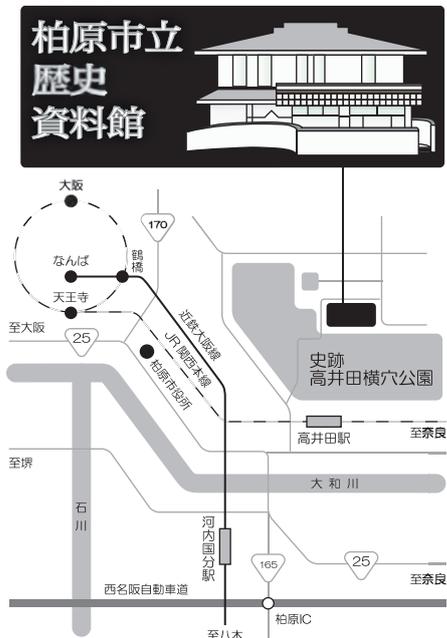
オンライン展示解説 (Visual History Guide)

● 7月28日(月) 14:00~15:00
※Zoomを利用したオンライン配信。詳細は、当館HPをご覧ください



お茶の間と資料館をつなぐ！

アクセスマップ



文禄2(1593)年8月13日付、大和船77艘・とかい舟12艘宛て、豊臣秀吉朱印状

※展示品の一覧は、当館HPよりダウンロードできます

「続・柏原の歴史講座」 (いずれも 13:30~15:00, 13:00 開場)

- 6月28日(土) 「飛鳥時代の柏原」
 - 7月26日(土) 「大和郡と安宿郡」
 - 8月23日(土) 「飛鳥時代の道」 講師：安村 俊史 (当館 特別館長)
- 会場：当館 研修室 定員：90名(先着順) 受講料：各200円

月曜休館(祝日は開館) 入館無料
9:30~17:00 (入館は16:30まで)
JR 大和路線 高井田駅から徒歩約6分
近鉄大阪線 河内国分駅から徒歩約15分

〒582-0015 柏原市高井田 1598-1
rekishi@city.kashiwara.lg.jp
TEL: 072-976-3430